

福井敬一常設展 VOL.30



シルキープラザ2階 アートギャラリー

(午前9時～午後5時) 入場無料

平成25年3月18日(月)～7月21日(日)

コト
花

— はかなさのむこう側 —

主催/問い合わせ先：須坂市 市民共創部 生涯学習スポーツ課
須坂市大字須坂 1528 番地 1 TEL：026-248-9027 FAX：026-248-8825
E-MAIL：shogaigakushusports@city.suzaka.nagano.jp

福井は齡八十を超えてもキャンバスに向かうことをやめませんでした。晩年、制作の対象は静物が中心となってゆきます。その中でも花をモチーフとした多くの作品を残しており、何度か展示会を開きますが、「花展はおゝむねどこでやっても好評である。おかしなものだ。私の花は女性向ではないのに、又モチーフを自分流に解釈しているのに、誰もムリしているとは云わない。」と感想を語っています。彼の目には、やがて枯れゆく花々はどのように写っていたのでしょうか。

今回は一九九〇年以降の未公開作品を中心に展示致します。鮮やかな色使い、熟練した技術をスケッチなどと合わせてご覧下さい。



胡蝶蘭 平成8年制作

花



たいさん木 平成7年頃制作



薔薇 制作年不詳



福井敬一と常設展について

明治 44 年台湾生まれ。帝国美術学校卒業後、油彩画を中心に制作活動を行い、国内美術界をリードしてきました。昭和 28 年「上高井美術同好会」の講師となり、以来 37 年間にわたり毎年須坂市を訪れ、地域の美術指導にあたりました。須坂市文化会館メセナホールの緞帳「破風高原」の下絵を制作したことで知られています。平成 15 年逝去。その前年、自身の希望により 600 余点の作品を須坂市に寄贈しました。これらの作品を市民の芸術文化振興に活用するため、テーマを設けて展示替えを行っています。